

(様式第3号)

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件2）

カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs(17ゴールと169ターゲット)関連項目																	
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
18		【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ	・【予定】環境マネジメントシステム ISO14001の取得に向けた計画を進める。(2023年)			3.9			6	7							12	13.3	14	15	
		【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	・【予定】HPを利用して環境情報の開示に努めていく。(2023年度)														12.6				
		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	・【予定】太陽光パネルの設置を検討していく予定。											7.2				13			
		【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ	・【予定】社内で使用しているあらゆる物で天然由来の物に代替可能な物については適時変更する。														12.2	13	14	15	
22		【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	・犯罪行為の禁止、基本的なモラルの認識及び周知を行っている。																	16	16.5
		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	・不正競争行為に関する認識と理解及び周知を行っている。																		16
		【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	・知的財産権の保護、取得、侵害に関する管理を徹底している。											8.2	9						
		【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	・HPに個人情報保護に関する方針、管理、取り扱いについて明記している。																		16
26		【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	・トレーサビリティが明確な原材料、製品の使用を徹底している。																		16
		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ	・【予定】サプライヤーとSDGsに関する認識を共有し地球環境や人権侵害に関する取り組みや認識を深めていく。							5			8	10		12	13	14	15	16	17
		【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	・製品安全に関する知識を共有し、リスクマネジメントを行っている。			3.9											12.4				
		【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	・基本的な品質保証体系を構築している。品質保証に関する検定取得者が在籍している。											9							
28		【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ	・環境汚染や有害物質の流出の恐れのある部材、資材の使用を控えるよう心掛けている。						6								12	13	14	15	
		【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ	・社会の潮流の変化と共に時代のニーズに対応した製品の製造及び課題解決に取り組んでいる。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	

	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
32 社会貢献・ 地域貢献	32 33 34	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	・地域コミュニティーの一部という認識を明確に持ち、対話やあらゆるコミュニケーションを通じて、自社が抱える問題の改善、是正に努めている。				4					9		11	12		14	15		17
		【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	・【予定】最適な社会貢献活動を検討し実施していく。				4								11		14	15		17
		【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ	・【予定】利用可能な地域資源を積極的に使用する。									8	9	11	12	13				
組織体制	35	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本	・全従業員に向け経営理念及び経営目標を掲示し共有を図っている。									8	9							17
	36	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確實に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	・【予定】法令遵守に対する考え方や理解を深める体制・仕組み作りを行っていく。																	16
	37	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	・【予定】環境問題等に対応する管理部門の構築を行う。																	16
	38	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本	・ステークホルダーとの対話を通じ、自社が社会に及ぼす影響を把握し対応するように心掛けている。																16	17
	39	【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ	・【予定】ISO9001の取得計画を策定し、リスクマネジメントに對応していく。																	16
	40	【社会的責任】 ・CSR（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ	・CSRの考え方、理解を深め社内で共有している。																	16
	41	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	・【予定】BCP策定を実施する。											9	11	13	13.1			16
	42	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ	・事業継承についてのあらゆる可能性を検討し、最適な事業継承を行えるよう計画をしている。										8	9						17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】

- 「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）
 - 「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
 - 「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。
 - また、取組に関する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。
- （※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるばし認定、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）